

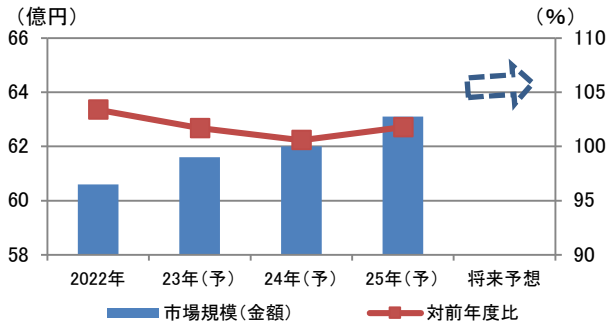
業界アウトライン

・厚生労働省では、令和6年度診療報酬改定の基本方針として、少子高齢化が進む中で全世代型社会保障の実現や、医療・介護・障害福祉サービスの連携強化、医療DXやイノベーションの推進等による質の高い医療の実現を掲げている。

注目市場

ニューロモデュレーション市場

ニューロモデュレーション市場 市場規模推移



※出典 矢野経済研究所

■市場環境

・2023年のニューロモデュレーション市場規模は、61億6千万円(対前年比101.7%)と見込まれる。  
 ・ニューロモデュレーションとは、デバイスを用いて電気・磁気刺激や薬物の投与を行い、神経活動を調節する治療法である。  
 ・近年は、難治性うつ病に対し、磁気刺激による治療が新たに保険適用を受けるなど、大きな注目を集めている。

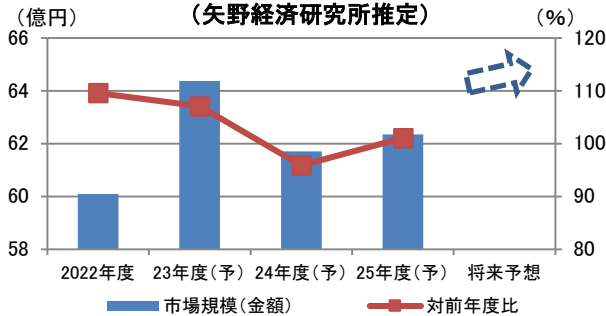
■業界動向／事業者動向

・ニューロモデュレーションは、多様な治療法が存在するが、切除や破壊を中心とした従来の機能神経外科と異なり、刺激や薬物投与量が調節可能であること、また治療を速やかに中止することが可能なことから、適用範囲は神経疾患のみならず、内臓疾患や全身の炎症性疾患にまで広がっている。  
 ・ニューロモデュレーション領域では、新規治療法の開発やバイオマーカーの特定など各所で研究開発が進んでいる。一方、臨床研究に係るコストや、作用機序解明の難しさなど課題も多くあるが、有望かつ研究開発が活発な領域であることから、さらなる新規治療法の開発に期待が集まっている。

注目市場

CPAP(経鼻的持続陽圧呼吸療法装置)市場

CPAP市場 市場規模推移 (矢野経済研究所推定)



※出典 矢野経済研究所

■市場環境

・2023年度のCPAP市場規模は、64億37百万円(対前年度比107.1%)と見込まれる。  
 ・CPAPとは、睡眠時無呼吸症候群(SAS)である患者について、実施する呼吸療法の装置を指す。  
 ・睡眠時無呼吸症候群は、肥満や加齢からくる気道の筋肉のたるみによる気道閉鎖、先天性の症例等が原因として挙げられており、潜在患者数は250万～300万人と推測される。

■業界動向／事業者動向

・睡眠時無呼吸症候群の症例に対する治療のひとつとして、CPAP療法が採用されており、患者に対して鼻マスクを装着し、鼻から狭くなっているノドに一定の空気圧を送り込み、気道の閉塞を解除することで、いびきと無呼吸を限りなくゼロに近づけ、睡眠を正常化する呼吸補助装置になる。  
 ・CPAPを扱う事業者は、基本的に海外メーカーの製品を輸入し、医療機関に販売・レンタルしている。競合が同一メーカーを取り扱うため、在宅ビジネスのネットワークやシステム管理、医療機関とのネットワークが重要で、在宅酸素や在宅人工呼吸器を全国展開する事業者が高シェアを維持している。